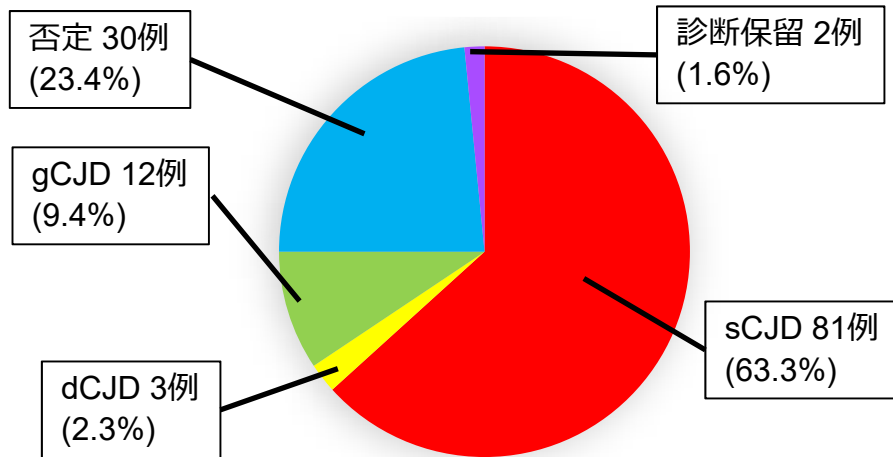


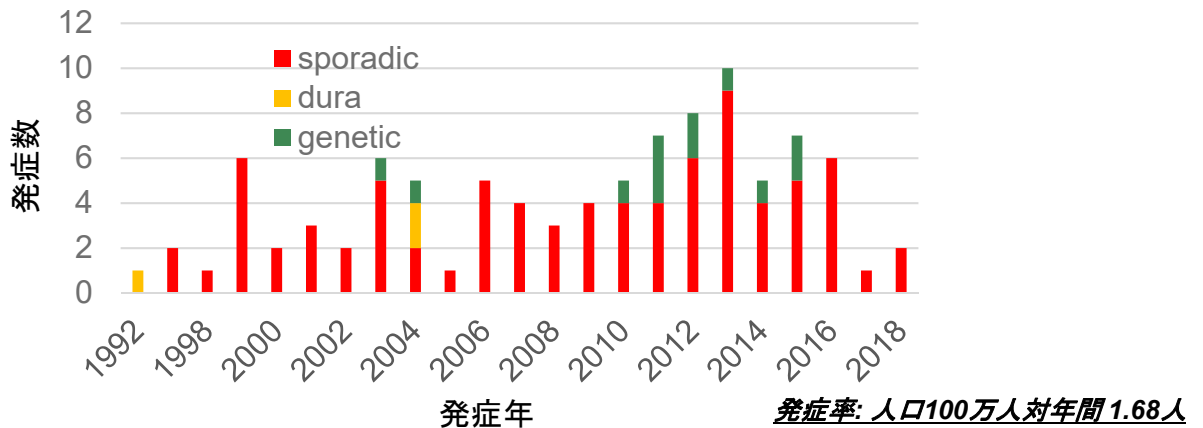
北陸地方におけるプリオン病の検討

研究分担者: 金沢大学大学院脳老化・神経病態学(神経内科学) 山田 正仁

CJDサーベイランスで確認された128症例の内訳



プリオン病発病者数の年次推移



解説

1. 1999年4月から2018年9月までのCJDサーベイランスにおいて128例が登録され、96例がプリオン病と判定された。
2. 全プリオン病に対して、孤発性CJD 84.4%、硬膜移植後CJD 3.1%、遺伝性CJD 12.5%であり、Gerstman-Sträussler-Scheinker病と家族性致死性不眠症と診断された症例はなかった。
3. 北陸地方におけるプリオン病の発症率は人口100万人対年間1.68人。